

1. 評価結果概要表

作成日 平成21年7月10日

【評価実施概要】

事業所番号	0176400273		
法人名	株式会社 萌福祉サービス		
事業所名	グループホーム もえ～る		
所在地	北海道留萌市栄町1丁目1番1号 (電話) 0164-49-5222		
評価機関名	タンジェント株式会社		
所在地	北海道旭川市緑が丘東1条3丁目1-6 旭川リサーチセンター内		
訪問調査日	平成21年7月9日	評価確定日	平成21年7月23日

【情報提供票より】(平成21年6月22日事業所記入)

(1) 組織概要

開設年月日	昭和(平成)15年8月6日		
ユニット数	2 ユニット	利用定員数計	18 人
職員数	24 人	常勤 13人, 非常勤 11人, 常勤換算	15.1人

(2) 建物概要

建物構造	鉄骨耐火構造	造り
	3階建ての	2～3階部分

(3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	30,000 円	その他の経費(月額)	6,300～18,900 円	
敷金	有(円)	無		
保証金の有無(入居一時金含む)	有(円)	有りの場合償却の有無	有 / 無	
食材料費	朝食	252 円	昼食	305 円
	夕食	388 円	おやつ	105 円
	または1日当たり		1,050 円	

(4) 利用者の概要(6月22日現在)

利用者人数	15 名	男性	3 名	女性	12 名
要介護1	0 名	要介護2	4 名		
要介護3	5 名	要介護4	4 名		
要介護5	2 名	要支援2			
年齢	平均 86 歳	最低	66 歳	最高	99 歳

(5) 協力医療機関

協力医療機関名	川上内科医院 寺西歯科医院
---------	---------------

【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

法人グループ間の内部評価を実施して、取り組むべき課題を自らの組織で明確にしてケアサービスの質の向上に利用され、改善の取り組みが運営向上委員会に報告されてフォローアップされていると共にデータ収集と分析が行われています。また、調理専門の職員が配置されて利用者とのかかわりの機会が多く作られてゆっくりした会話や誇りやプライバシーに配慮した取り組みが行われている留萌駅前の鉄骨耐火構造造り3階建てのグループホームです。デイサービスが併設され、地域の人達との交流や自主的な事業所周辺の美化活動や率先した地域からの食材等の購入、お祭りへの屋台の出店や盆踊り等の参加など地域への貢献も積極的に行われています。

【重点項目への取組状況】

重点項目	前回評価での主な改善課題とその後の取組、改善状況(関連項目:外部4) 前回評価では、運営推進会議の定期的な開催が課題として挙げられていましたが年間6回の運営推進会議の計画が組まれて、予定通りに会議が開催され介護保険制度など具体的な話し合いと意見交換が実施されています。
	今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4) 全ての職員が参加して、自己評価が実施され新たな気付きや振り返りの機会として利用されています。また、具体的な課題については運営向上委員会で討議され具体的改善及びそのフォローアップが実践され外部評価の結果と共に運営推進会議にも報告されています。
重点項目	運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4,5,6) 運営推進会議は、年間6回の実施計画通りに開催され主な議題については運営推進会議開催の意義について再確認 事業所及び職員の年間目標設定について 本年度の行事実施状況について 事業所の活動状況報告について 事業所への要望・助言・苦情について
	家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部7,8) 毎月発行する「もえからのお手紙」や一人ひとりの生活の様子を伝える「ひと月の過ごし方」などでは、日常の暮らしぶりやその日の特徴的な出来事など家族に報告されて職員との意見交換や対応について話し合われています。また、認知症について「認知症コラム」を連載して基礎知識や症状等の理解や啓発を行う取り組みが行われています。
重点項目	日常生活における地域との連携(関連項目:外部3) 法人主催の「夏祭り」を開催して地域の子供達、地元の人々との交流に取り組んだり、職員の自主的な清掃ボランティア、食材の地元商店からの購入などを通じて地域への貢献にも取り組んでいます。また、「月間かほり新聞」の発行を通じて感染症や白癬菌感染症、新型インフルエンザ等の基礎知識の広報活動にも取り組み地域との連携に努めています。

2. 評価結果（詳細）

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
理念に基づく運営					
1. 理念と共有					
1	1	地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、経営理念をもとに事業所独自の理念、理念を達成するための目標をつくりあげて実践している。		
2	2	理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	管理者と職員は、理念を達成するための個々の年間目標を掲げ具体的な活動に取り組んでいる。		
2. 地域との支えあい					
3	5	地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	法人主催の「夏祭り」を開催して地域の子供達、地元の人々との交流に取り組んだり、職員の自主的な清掃ボランティア、食材の地元商店からの購入などを通じて地域への貢献にも取り組んでいる。		特筆すべき点として、「月間かほり新聞」の発行を通じて感染症や白癬菌感染症、新型インフルエンザ等の基礎知識の広報活動にも取り組み地域との連携に努めています。
3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
4	7	評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	全ての職員が参加して、自己評価が実施され新たな気付きや振り返りの機会として利用されている。また、具体的な課題については運営向上委員会で討議され具体的な改善及びそのフォローアップが実践され外部評価の結果と共に運営推進会議にも報告されている。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
5	8	<p>運営推進会議を活かした取り組み</p> <p>運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている</p>	<p>運営推進会議は、年間6回開催の具体的な計画が立てられ、計画通りに実施されている。また、委員については家族、留萌市担当者、包括支援センター職員、町内住民、警察官、センター長、管理者で構成され具体的に取り組んでいる。</p>		
6	9	<p>市町村との連携</p> <p>事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会を作り、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる</p>	<p>事業所は、市との連携の重要性について十分理解し、相談や連携に取り組むケアサービスの質の向上に努めている。</p>		
<p>4. 理念を実践するための体制</p>					
7	14	<p>家族等への報告</p> <p>事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている</p>	<p>毎月発行する「もえからのお手紙」や一人ひとりの生活の様子を伝える「ひと月の過ごし方」などでは、日常の暮らしぶりやその日の特徴的な出来事など家族に報告されて職員との意見交換や対応について話合われている。</p>		<p>特筆すべき点として、認知症について「認知症コラム」を連載して基礎知識や症状等の理解や啓発を行う取り組みが行われている。</p>
8	15	<p>運営に関する家族等意見の反映</p> <p>家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	<p>「もえからのお手紙」を毎月発行して、利用者の日常の暮らしぶりやホーム行事参加の様子など家族に情報提供をして、家族の意見や不安など言い易い雰囲気作りに取り組んでいる。また、運営推進会議や意見箱の設置で不満や苦情など言い表せる機会を設けている。</p>		<p>今後は、職員の離職や異動の際に家族等に職員の紹介をする工夫に期待します。</p>
9	18	<p>職員の異動等による影響への配慮</p> <p>運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている</p>	<p>利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、職員の離職や異動などで利用者に影響を与えないように配慮する取り組みをしている。</p>		


外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
5. 人材の育成と支援					
10	19	職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	管理者や職員を段階に応じて育成するために社内研修を充実させて身体拘束・高齢者虐待、個人情報保護法など年間研修計画を立て実践している。		
11	20	同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワーク作りや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	同一地域に同業者は少ないが、法人グループの他施設と協働し、内部評価を実施して運営向上委員会で再発防止策に取り組みケアサービスの質の向上に活かされている。		
.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
12	26	馴染みながらのサービス利用 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐徐に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	安心して納得したサービスが受けられるように入居前には、併設されているデイサービスの利用や利用者・家族の見学などで不安を解消する取り組みや、場の雰囲気に馴染めるよう相談しながら工夫している。		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
13	27	本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながらか喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	職員は、本人を介護される一方の立場におかず、洗濯物たたみや調理の手伝い、食器洗いや貼り絵など一緒に過ごしながらか喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている。		

外部 評価	自己 評価	項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期 待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
1. 一人ひとりの把握					
14	33	<p>思いや意向の把握</p> <p>一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している</p>	<p>一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めてお祭りの屋台見物や食器洗い、散歩や歌唱、嚙下体操や音楽療法への参加など本人本位に検討している。</p>		
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し					
15	36	<p>チームでつくる利用者本位の介護計画</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、介護支援専門員の適切な監理のもとに、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している</p>	<p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、介護支援専門員の適切な監理のもとに利用者、家族の希望や医師からの助言・情報や職員からの意見を取り入れ具体的な介護計画となっている。また、ケアプランと日々のケア記録が連動している。</p>		
16	37	<p>現状に即した介護計画の見直し</p> <p>介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、介護支援専門員の適切な監理のもとに、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している</p>	<p>介護支援専門員の適切な監理のもとに、介護計画書に記載している個別の期間を目安に評価を行い、計画的に見直しが行われている。また、利用者・家族の要望や利用者の状態変化に応じて期間終了前であっても都度、現状に即した介護計画の見直しが行われている。</p>		
3. 多機能性を活かした柔軟な支援					
17	39	<p>事業所の多機能性を活かした支援</p> <p>本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている</p>	<p>本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、嚙下体操や音楽療法、作業療法への参加やデイサービスとの交流など柔軟な支援をしている。</p>		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働					
18	43	かかりつけ医の受診支援 利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている。	利用者、家族の希望や要望に応じて状態変化などについても医師・歯科医師の往診など適切な医療が受けられるよう支援されている。また、利用者それぞれの主治医との連携で気軽に相談できる医師が確保されている。		
19	47	重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から医師と連携して利用者・家族と相談しながら検討対応するよう職員間で方針が共有されている。		
. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
1. その人らしい暮らしの支援					
(1)一人ひとりの尊重					
20	50	プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	一人ひとりの誇りやプライバシーを尊重した言葉かけや対応、記録等の個人情報の扱いに努めている。		
21	52	日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、散歩や買い物、ウインドショッピングやテレビ観賞、ホーム行事参加など希望にそって支援している。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
22	54	食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、職員と一緒に調理や食事の準備、後片付けや食器洗いをしている。また、調理専門の職員が配置されケアに専念できる時間の確保が実施されている。		
23	57	入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めず、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、週3回を目安に支援している。また、デイサービスの大きな浴槽も利用でき入浴が楽しめるように支援されている。		
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
24	59	役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	一人ひとりの生活歴や力を活かしながら食事の準備や食器洗い、洗濯物たたみや塗り絵、買い物で金銭を使う場面を見出すなど支援している。		
25	61	日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさず、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	散歩や魚屋さんでの買い物、お祭り見物や花見など一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している。		
(4) 安心と安全を支える支援					
26	66	鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、玄関は、鍵をかけないケアに取り組んでいる。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
27	71	<p>災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている</p>	<p>緊急時に全ての職員が速やかに対応ができるように実技を伴う火災避難訓練が年2回実施されている。また、防火管理者が配置されている。</p>		
(5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
28	77	<p>栄養摂取や水分確保の支援</p> <p>食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている</p>	<p>栄養バランスや摂取カロリーはおおよそ把握され、栄養士・医師の指導・アドバイスを受けて支援している。また、具体的な水分・食事摂取量が記録され職員間で共有されている。</p>		
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり					
(1)居心地のよい環境づくり					
29	81	<p>居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>共用の空間では、利用者が集い椅子やテーブルで一人になったり利用者同士談笑して和やかな雰囲気が感じられた。また、利用者にとって気になる臭いや音の大きさ、光の強さ、空気のよどみは感じられない。</p>		
30	83	<p>居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>居室には本人や家族と相談しながら、使い慣れた家具やタンス、テレビなどの家電製品が持ち込まれ本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている。</p>		

 は、重点項目。

WAMNETに公開する際には、本様式のほか、事業所から提出された自己評価票（様式1）を添付すること。